

## 専門家として参加派遣したIAEA 関連ミッションの例(\*)

(\*)専門性による指名参加と自発参加の両パターンがある。

年月	会議名	開催地
平成24年7月	IAEA/JICCメンタリングコース(メンター)	東京
平成24年5-6月	IAEA NEMスクール、メンターワークショップ(講師)、運営	茨城県東海村
平成23年7月	WNU夏季研修(講演、メンター)	英オックスフォード
平成22年9-12月	Energy Management School(於ICTP) 準備および運営	ウィーン、トリエステ
平成22年7-8月	WNU夏季研修(講演、メンター)	英オックスフォード
平成21年12月	IAEAコンサル会議「WNU夏季研修プログラム評価」	ウィーン
平成21年11-12月	新規導入国の原子カインフラ総合レビュー (コンサルタント)	インドネシア、ベトナム
平成21年7-8月	WNU夏季研修(講演、メンター)	英オックスフォード
平成20年7-8月	WNU夏季研修(メンター)	オタワ
平成19年10月	原子力知識管理に関するアジア地区ワークショップ	東京
平成19年9月	原子力発電所補修要員と契約者の訓練とパフォーマンスに関する良好事例普及のための技術会合	ハンガリー
平成19年6月	原子力施設の知識管理に関する国際会議	ウィーン
平成19年1月	「原子力発電プロジェクトの建設管理能力の向上プロジェクト」キックオフ会合	中国北京
平成18年11月	原子力海水淡水化広報・教育活動のワークショップ (講演、コンサルタント)	インドネシア
平成12-18年	原子エネルギー局政策諮問委員会(SAGNE)常任委員	ウィーン
平成17年5月	「原子力海水淡水化に関する経済性予備成立性評価プロジェクト」総括会議(コンサルタント)	インドネシア
平成17年2月	「原子力海水淡水化に関する経済性予備成立性評価プロジェクト」プロジェクト会議(コンサルタント)	ウィーン
平成15年12月	「原子力海水淡水化システム最適化」 調整研究総括会議(コンサルタント)	ウィーン
平成15年9月	「原子力海水淡水化システム最適化」調整研究成果の報告発表受託(GENES4/ANP2003)	京都
平成15年7月	原子力技術に関するアジア地区高度教育ネットワーク設立についてのコンサルタント会合	韓国大田
平成15年4月	21世紀における放射線照射の新利用展望に関する技術会合	ウィーン
平成14年6月	「原子力知識・経験の継承」に関する国際会議	ウィーン
平成13年10月	核燃料サイクルの選択肢に関する技術会合	ウィーン